

“みんなの”少子化対策（概要）

～子どもへの投資が未来を支える 子育てセーフティネットの強化を！～

🌸 「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」提言 🌸

◎ 結婚・出産・子育ての危機…時代は変わった

○ 「家庭」「地域」「職域」の果たしてきた
結婚（縁結び）機能や子育て支援機能が低下。

○ 社会全体の仕組として、「子育てセーフティ
ネット」を強化し、再構築する必要。

★ 希望しても結婚できない迷路と壁

- ・ 30～34歳女性の未婚率：7.7%(1975年) → 32.0%(2005年)
- ・ 男性の生涯未婚率(50歳時未婚率)：2.1%(1975年) → 16.0%(2005年)
- ・ 30～34歳男性の結婚率：正規社員6割に対し、非正規社員は3割(2002年)

★ 清水の舞台から飛び降りる覚悟が必要な出産

- ・ 分娩取り扱い施設：5,924施設(1984年) → 2,933施設(2005年)
- ・ 仕事をしていった女性の7割が出産前後で離職(2001年度)

★ 綱渡りの子育て

- ・ 共稼ぎ家庭の割合は54%(2007年)、保育所待機児童は2万人(H20.4)
- ・ 子育ての負担感「大」と回答した割合：共働き29.1%、片親のみ就労45.3% (2000年度)

◎ 子どもの笑顔あふれる日本社会の実現を

○ 「希望」がかなえられ、「活力」があり、
子どもの笑顔があふれる社会を目指す。

- ★ 結婚、出産、子育ての「希望」がかなえられる
- ★ 貧困や格差によってあきらめることがない
- ★ 活き活きとした経済と命の営みがつづく

○ 少子化の流れを反転させ、人口の急激な減少
スパイラルからの脱却を図り、安定的で持続
可能な社会を目指す。

◎ 3つの「ない」を解消するために…

★ 関心（合意）がない

～ 子育て当事者だけが苦しんでいる。

★ 広がりがない

～ 対症療法だけでは不十分。

★ 財源が足りない

～ 家族関係施策への予算が不十分。

	(日本)	(イギリス)	(フランス)	(スウェーデン)
家族関係費用の対GDP比(2005年)	0.81%	3.20%	3.02%	3.17%
国民負担率(2005年)	38.3%	48.3%	62.2%	70.7%

◎ 国民すべての“みんなの少子化対策”を目指す

- ★ みんなが具体的な行動を起こす。
- ★ 利用者の視点に立って見直す。

◎ ライフサイクルを通じた総合的な支援を目指す

- ★ なぜ結婚できないのか、からスタートする。
- ★ 子どもが主人公。

◎ 未来の子どもたちのためにはみんなで負担を分かち合う

- ★ 消費税1%分を〈子どもたち〉のために。

